

会議録（要点筆記）

会議名	みやま市まち・ひと・しごと創生会議 平成30年度第2回会議
開催日時	平成30年6月1日（金） 午後1時30分～3時10分
開催場所	みやま市消防署 1階 会議室
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> ① 第1回会議録（要点筆記）について (2) 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> ① 重要行政評価指標（KPI）の補足説明及び表示修正について ② 事業計画書について ③ 地方創生交付金事業の実績（平成29年度）について 3 閉会
委員出席者	牛嶋 繁己、北原崇、金子寿、浦 里果、内田 和実、相澤 直子、柴田廣孝、中村 和也、田中 聖仁、大賀 茂功、金子亜希、末吉 達二郎、中尾眞智子、宮本 五市
欠席者	高島雄三、佐田 淳一
事務局	堤企画振興課長、宮川企画・地方創生係長、堤直之野田教育部長、加藤学校教育課長
傍聴者数	無
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回会議録（要点筆記） ・みやま市まち・ひと・しごと総合戦略 KPI 一覧表 ・みやま市まち・ひと・しごと総合戦略事業計画書 ・地方創生関連交付金の活用状況について

1. 開会

<内田会長より開会>

2. 議事

(1) 報告事項

①第1回会議録（要点筆記）について

【会 長】 事務局より説明をお願いします。

<事務局より、「第1回会議録（要点筆記）」の説明>

【事務局】 前回の会議で「全国学力状況調査について、小学校は平均を上回り、中学校は平均を下回っている。次回の会議で教育委員会において分析された内容と検討している対策について説明いただきたい。」のご意見をいただいた。

本日は教育委員会の担当者に出席していただいているので、そちらからご説明をさせていただきます。

【教育委員会】 学力調査の KPI の指標についてご説明させていただく。全国学力・学習調査における本市の数値は、小学校は上昇傾向または中学校は下降傾向に見える。H27 の数値は小学校 107.6、中学校は 96.2。小学校、中学校ともに上下を繰り返しながら推移している。また、ご指摘があった小学校と比べると中学校が低くなっていることについては、近隣市などでも見られる傾向。一方で全国学力・学習調査の結果については、みやま市としては一つの指標として掲げてはいるが、その年の小学校6年生と中学校3年生のみが対象となる。教育委員会としては、全国学力・学習調査だけにとらわれずに、その結果に一喜一憂することなく、総合的な生きる力を身に着けた子どもの育成に力を注いでいきたいと考えている。子どもたちが知識だけでなく、生きるための知恵を身に着けて、夢や希望に向かって挑戦していけるようにと考えている。

【委 員】 総合的な力を身に着けてもらうという核たるものを持ってあるので安心した。ただ子どもたちの学力が近隣に比べて低いとか、また、福岡県の中でも下の方だということなら問題だと思うが、みやま市はどうなっているのか。

【教育委員会】 本市の学力の位置は、まず南筑後教育事務所管内では中位くらいに位置している。それから教育事務所が全県で6つあるが、南筑後教育事務所は3番目なので、これも中位から若干上位に位置している。

【委員】 県下でも劣っているほうではない。たくましく生きる力というのは小さいうちから教えていかないといけない。こういうものを伸ばして、さらに学力も伸ばしていただけるようお願いしたい。

【委員】 学校の先生たちの過重労働について、全国学力・学習調査の平均点に追われた状況が原因とも聞いているが、どう考えているのか。

【教育委員会】 教職員の過重労働については全国的な課題となっている。国・県等から解決に向けた方針が出されている。今の段階では具体的に学力調査の点数を上げるためにどのくらい時間をかけているのかとかの調査は行っていない。今後の働き方改革を進める上での課題と考えている。

(2) 協議事項

①重要業績評価指標（KPI）の補足説明及び表示修正について

【委員長】 事務局より説明をお願いします。

<事務局より、以下の説明>

「別冊」：重要業績評価指標（KPI）の補足説明及び表示修正

【事務局】 KPI 一覧表の進捗状況の表示については、前回指摘のとおり修正させていただいた。前回で報告できなかった項目について、説明させていただく。

- ・みやま市が住みやすいと思う人の割合 81.5%
- ・みやま市に住み続けたいと思う人の割合 78.9%
- ・安心して子育てできるまちと感じる人の割合 67.7%
- ・教育環境が充実したまちと感じる人の割合 44.5%
- ・高齢者が生きがいを持って生活しているまちと感じる人の割合 43.5%
- ・地域の医療機関数や整備状況に満足している人の割合 54.4%
- ・自治会・地域コミュニティ活動への参加割合 58.7%

【会長】 何か質問、意見ありましたらお願いします。

【委員】 事務局としては表示を修正されて、全体的に▲が増えたことについてどのように考えているのか。

【事務局】 前回から▲が増えている。このことについては内部会議でも報告している。進捗状況が悪い部分については担当課とも協議

して、改善していく。一方で、例えば企業誘致など数値目標が難しい部分もあるので、そこは柔軟に対応していきたい。

加えて、KPI 一覧表の P1 社会増減数ですが、基準値が H26 でマイナス 295 人だったのが、H29 はマイナス 169 人なので、だんだん縮小しているという分析をしている。このことは市が行っている新婚世帯家賃補助や子育て世帯家賃補助など、子育てに関して市が力を入れているということの評価できると考えている。すぐに社会減 0 とか出生数を大幅に伸ばすとかは難しい。継続的に事業を実施することによって社会減をできるだけ 0 にする。出生数を目標値に近づけるということを考えている。

②事業計画書について

【会 長】 事務局より説明をお願いします。

＜事務局より、事業計画書の説明＞

【委員長】 質問・意見はないか。

【委 員】 P18、農産物のブランド化について、県で今年の 11 月に東京にアンテナレストランを開設する。先日説明会も行った。みやま市にはなす・セロリ・みかんなど全国的に優れた農作物が多くあるので、ぜひアンテナレストランを活用してほしい。時期ごとに、地域フェアとかをやっていく予定なので、ぜひみやまフェアをやっていただきたい。

【委 員】 P4 農漁業の成長産業化・漁業の協業化について、漁業がメインに記載してあるが海苔は枚数は少ないが高く売れて所得は良い。しかし、後継者問題により漁業従事者数は大変減少している。協業化はなかなかうまくいっていないと聞いているが、どう考えているのか。

【事務局】 詳しい内容は所管部署により回答したいが、漁業の協業化は取り組んではいるが、農業分野と異なり順調に進まないということを聞いている。

【委 員】 本市にとって海苔養殖業は重要な産業の一つであり、農漁業ともに後継者問題は切実である。

【委 員】 コミュニティバスについては確かに利便性は上がっていると思うが、福祉バスのときのバス停の位置が変更されている部分もあり、足が不自由な方、歩くのが困難な方にとっては不都合な面も生じてきている。今後はそのような点も考えてほしい。

【事務局】 バス停の位置をすぐに変更するのは難しい。より利便性の高い運用を心掛けていく。

【委員】 P7 企業誘致の推進について、みやま市に大企業を誘致するのは都市計画の問題があって難しい。しかしながら、本市には福岡市へのアクセスの良さ、固定資産税の安さ、充実した子育て支援施策がある。みやま市で起業をするのは、他で行うよりも起業しやすいと感じており、起業を望む人を対象に大学等で、みやま市をPRするのも良いと思う。

【事務局】 P9 に掲載する市外からの移住者起業支援をみやま市のPRを含めて進める。

また、山川南部小の空き教室を使ったシェアオフィス整備など地方創生拠点整備交付金事業を進めている。シェアオフィスではテレワークにて、場所や時間にとらわれない新しい働き方への取り組みなどを推進していきたい。

P9 の起業者の創業支援は50万円補助する制度を行っている。企業誘致についても、セミナー等を継続して取り組んでいく。

【委員】 ぜひ大学に行って起業に興味がある人に対してアピールしてほしい。

P8 通勤定期利用支援金が目標値に対して、利用者が少ない。金額の増額を検討してほしい。みやま市にはJRと西鉄合わせても5つしか駅がなく、たくさん駅がある市町に比べたら利用者は少ない。一方で、就職するのは福岡市や久留米市などが多い。そこに対応できるような内容にするべき。補助金額が増えても住民税が増えていくわけなので、その辺を検討してほしい。

【事務局】 補助金額の増額についてはまだ検討していないが、昨年度は補助対象要件の乗車駅について、九州新幹線は新大牟田駅からも乗車可能と利用しやすいよう要綱の改正を行った。今年度はPRを強化して、みやま市は都心部に比べて固定資産税や家賃なども安いということでアピールしていきたいと考えている。

【委員】 PRで一番わかりやすいのは対照表。福岡市に住んでいた場合は生活費にこれだけかかるとか。みやま市に住めばこれくらいで済むとか。子育て環境もいいので合わせて、それと一緒にアピールと検討してほしい。

【委員】 P6 企業団地の造成ということだが、農地を工業団地に転用される予定だが、そこに遺跡があったということを知った。工程表に影響がっているのか。

- 【事務局】 遺跡の調査については2～3年かかるので、H31年度までは調査中ということになると思う。
- 【委員】 P16 ホテルの誘致だが、ホテルができた場合の観光について計画があるのか。
- 【事務局】 九州オルレみやま・清水山コースのお客さんに泊まっていたとか、またホークスのファーム球場タマホームスタジアム筑後の野球観戦の方に利用してもらうとかが考えられる。
また、近隣の筑後市と矢部川のかわまちづくりという事業をすすめているので、ホテルに宿泊してもらって楽しんでもらうとかが流れの一つとして考えられる。
- 【委員】 西鉄の観光列車が近々運行される予定で、柳川市は取り組んでいるようだが、みやま市は活用しようという計画はあるのか。
- 【事務局】 担当課の方でどこまで考えているのか不明だが、企画振興課では具体的には聞いていない。
- 【委員】 P60 少人数対応教育について、みやま市では手厚くしているのが好評。しかし、学校の講師の先生が不足している。期間が3月で切れて、また4月からということで身分が安定していない。講師を希望される人が若い世代に少ない。教員の定員改善を要求できるようにしてほしい。
また、義務教育費の国庫補助が1/2から1/3に減らされている状況なので、国の補助受けれるように働きかけてほしい。
- 【事務局】 教育委員会には教員の定員に関する意見は伝えるようにする。
- 【委員】 P54 放課後児童クラブについて、小学校3年生までだったので6年生までになって人数が増えた。施設の安全管理がきちんとなっているのか。多様な子どもが来るような状況になっているので、学校との連携が必要。施設の管理のチェック、広さとか待遇改善とか、あるいはハンディキャップを持って生まれて児童への対応とかができるように取り組んでいかないといけない。
- 【事務局】 放課後児童クラブについては担当課に確認させていただいて回答したい。昨年度法人化された。この会議の前にも放課後児童クラブの支援員の方たちの研修が行われていて、色々な児童に対応できるように取り組んでいる。
- 【会長】 KPI 一覧表に放課後児童クラブ待機者数という項目があるが、そもそも待機者というのがそぐわないということであるならば、次回はKPIからはずすということを進めてもらいたい。

③ 地方創生関連交付金の活用について

【会 長】 事務局より説明をお願いします。

＜事務局より、地方創生関連交付金の説明＞

【事務局】 本市ではH27年度より地方創生の推進を図るため、総合戦略を策定しまして、国の交付金を活用してきました。H28年度は地方創生加速化交付金を、H29年度は地方創生拠点整備交付金を活用した。H29年度はみやま市道の駅のチャレンジショップの取り組み。また県民総活躍社会の実現プロジェクトとしてソフトバンクホークスのファーム本拠地を中心とした筑後七国の活性化に関する取組を実施しました。

これの現状値、目標値などをご紹介したい。

H27年度は地方創生先行型交付金として、①総合戦略の策定事業、②道の駅機能強化事業、③第3子以降出産祝金事業に交付金を活用した。③の第3子以降出産祝金は現在は単費で行っている。また、④HEMSプロジェクトや⑤みやまスマートコミュニティプロジェクトはみやま市太陽光発電に関してプロジェクトを進めてきた。⑥はシティプロモーション戦略、⑦観光アプリの開発なども行ってきている。

H28年度は地方創生の加速化交付金を進めてきた。体験プログラムの開発などを行った。今年の春にも体験型プログラムを行って、今は秋のプログラムの事業者を募集している。また長田の足湯の整備やPRツールの作成なども加速化交付金で進めてきた。

地方創生拠点整備事業の実績は、昨年度補正を行って、農村チャレンジショップ事業ということで、「道の駅みやま」のフードコート前にチャレンジショップ及びイートインスペースを整備しております。

地方創生推進交付金についてが、県民総活躍社会の実現プロジェクトということで、筑後七国で行っている事業で交付金を活用したものです。

KPIについてということで、それぞれ記載しております。目標値・現状値についてはKPI一覧表と一致する内容で記載している。

7、8はH29年度の地方創生拠点整備交付金と地方創生交付金の内容を記載している。拠点整備交付金は道の駅のチャレンジショップ事業で、今後の展開としては、農家レストランなどの創業を目指す農家のチャレンジショップとして、あるいは市内の飲食店の新たな食材を使ったパイロットショップとして活用したいと考えている。

最後の8は地方創生推進交付金については、福岡ソフトバンクホークスと連携し、筑後七国地域活性化に向け、連携イベントや着地型観光の取り組みを推進していく。

【委員】 P3 HEMS プロジェクトの目標値が4,000件だが、現状は2,090件となっていて少ない。利用実態が非常におろそかになっていると思っている。HEMS 買い物サービスも目標値は2千万円となっているが、現状は249万円とかけ離れている。みやまスマートエネルギーとみやま市が連携できていないのが原因と考えられる。

【事務局】 HEMS は最初は自分の家の電気の使い方もわかって活用するが、日が経つにつれてあまり使わなくなる。HEMS の件数が伸びていない。しかし省エネ、エネルギー地産地消のまちみやま市で推進しているので、今後も進めていかなければならないと考えている。買い物サービスについても、目標値の達成が難しい現状値となっている。買い物サービスも不便な点があると考えている。今後とも HEMS プロジェクトを進めていく上ではみやまスマートエネルギーと市のエネルギー政策課一体となって進めていかなければならないと考えている。

【委員】 多くの課題があると思う。みやま市でも買い物が不便なところはあるのにみやまスマートエネルギー社の買い物サービスが進んでいないのは連携がうまくいっていないことが考えられる。

【委員】 P40 地元大学との連携強化について、学生居住助成金事業はあまり実績も変わっていない。学生にとってはありがたい事業だとは思いますが、学生と住民と顔を合わせられるような事業を増やしていただければ連携強化になるのではないかと思います。

【会長】 学生も地域と連携したいと思いは持っているのですが、具体的にその場がない。きっかけがあれば大学としても連携を進めたいなと思っている。

【委員】 3、4年前に学生たちで地域の安全見守りボランティアというのを作っていた。ボランティアサークルの活動なども地域の人たちと一緒にやれば良いと思う。

【委員】 みやま市の基幹産業である農業の高菜についてです。高菜は生産するのは難しくないけど、価格が高くない。また、加工品も漬物とかしかない。加工業者も国内産・地元産が少ないので、海外のものに頼らないといけない状況と聞いている。行政として対応できないか。

【事務局】 高菜に携わる農業者の方や生産量が8年前から半減しているという報道が先日なされていた。重労働となる刈り取り作業が辞められる理由の一つと言われている。生産性の向上をはかるため、有明高専と一緒に高菜の自動の刈り取りについて研究開発を進めていると聞いている。しかしそれがどれくらいで商品化されるのかは不明。

【会 長】 ほかにありませんか。
ないようでしたら、この会議を閉じさせていただきたいと思
います。熱心にご議論いただきましてありがとうございます。
引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】 前回の5/11と今回の会議と2回にわたる長時間の会議と色々
な活発なご意見をいただきましてありがとうございました。
2日間にわたって委員の皆様から出されてご意見・ご指摘に
ついては各担当部署に伝えて、今後の総合戦略に役立てていき
たいと考えています。
ここでお答えできなかった件につきましては、担当部署に確
認しまして、何らかの形で委員の皆様にご回答したいと思います。
これをもちまして、平成30年度の事業を進めていきたいと思
いますのでよろしくお願いいたします。

(1 5 時 1 0 分 閉会)